

～^{おほ}多くの^な仲間^かとともに^{いま}現在^かを変え^{みらい}未来^{そうぞう}を創造^{ねん}するために～ **2024年3月** ^{かつ}

KSKQ ファースト・ラン NO.117

～ために ではなく ともに～



※ H P ^{ほーむぺーじ}ではカラー^{ばん}版^{らん}でご覧いただけます。

作者：北井一成（そよかせの家）

テーマ：みんなで仲良く

「遊びをテーマに描きました。そよかせの家のカレンダーにもイラストを載せたいので、練習しています。」

目次

もくじ

- ^{あいさつ}ご挨拶 ^{じょうむり}～常務理事就任^{じしゅうにん}～
- コラム ^{ゆきやーさん}優飢極道の鬼怒愛落仁聖^{きどあいらくじんせい}
- ^の能登半島地震避難所を訪ねて^{とはんとうじしんひなんじょ} ^{たず}
- ^{じぎょうほうこく}ちよこつと事業報告・^{かいいんほしゅう}会員募集

ファースト・ランは、^{でんしばん}電子版^{らん}でもご覧いただけます ★<https://www.suisinkyo.com/first-run>

前号では、新理事長就任、前理事長退任、新理事、新人職員の紹介をさせていただきましたが、今回は常務理事の笹川さんの挨拶となります。会員の方、応援して下さる方に、他の理事の方も続けて次号で紹介できたらと思います。よろしくお願いいたします！

常務理事就任のご挨拶

常務理事をお受けすることになりました笹川実千代です。どうぞよろしくお願いいたします。

38年間、箕面市内の小学校で勤務する中で、障害の有無に関わらず、地域の学校とともに学び、生活することの意義や大切さなどを子どもたちから、保護者から、そして先輩の教職員からたくさんを学ばせていただきました。箕面の山に遠足に行ったときのことですが、みんなで車いすを「よいしょ！よいしょ！」と引っ張ったり押したりして山道を進みました。そして山の広場で一緒に遊びました。ある時は、「帰ったら一緒に遊ぼうって約束したのに来なかった。Aさんはもうこれから誘わへん」と怒っている友だちに対して「なんで来なかったん？」とAさんに理由を尋ねようとする友だちがいました。実は、約束の内容を理解しづらく帰ったら忘れてしまっていたのです。次からは連絡帳に書いて持って帰ることを周りの友だちが考えていました。一緒に遊ぼうと思ったからこそ発生したトラブルでした。このような日々の出来事はとっても大切な宝物です。

推進協の理事は2020年度からさせていただいています。推進協の設立目的には「障害者市民の自立生活及び自立生活をめざしての活動をあらゆる面で支援し、かつ、多くの市民及び団体とともに連携しながら実践することを目的とする」とあります。小学校で一緒に過ごした子どもたちが大人になり作業所や事業所で一生懸命働いている姿に出会うととっても懐かしく嬉しくなります。

「ともに学び ともに育つ」教育が今後もより充実し、障害者が自分らしく生活し、働き続けることのできる「人権の街・みのお」をめざすお手伝いできればと思っています。

(笹川 実千代)

笹川常務理事に作っていただいた切り文字





ゆきやーさん きどあいらくじんせい 優飢極道の鬼怒愛落仁聖

そのさん ゆうめいじん
其ノ三 ~有名人は、つらいのよ~

さく ゆきやーさん が ふくだ ひろし きょうりよく きくりん
作：優飢極道 画：福田 浩司 協力：喜苦麟

まいにち 毎日、バタバタしている間に2023年が年明けして春が少しずつ近づいてきて、まもなく新年度が始まります。(皆さんの手元にファースト・ランが届く頃、年度明けしているかも…)

とつぜん 突然ですが、皆さんは、どんな2023年にしたいですか？何か、目標がありますか？私の目標は…。まいとし もくひょう 毎年、目標にしているのですが、「標準体重になること」(少しずつしか痩せませんが、実行して成功中)です) 次に、「怒らない自分になる」です。何人かの方が経験していると思いますが、阪急電鉄のいくつかの駅で時間帯によって無人駅となっていて、車いす障害者がスムーズに移動できない状態になりつつあります。私は、宝塚(箕面線含む)線を中心に、次に京都(千里線含む)や神戸線という順番で利用しています。

ねんげうげつにち 2022年某月某日・箕面線某駅から、電動車いすで電車に乗車したいと思ったときの話を紹介します。でんしゃが、もう間もなくホームに入ってくるので、駅員に「某駅まで」と伝えました。しかし、駅員のへんとう 返答は、「私は、まもなく休憩時間。他の駅から応援の駅員を依頼するから、待って。」と言う。私は、『もうすぐ来る！なんでやねん！』と激怒した。20分後、他の駅から応援の駅員が来て乗車できたが納得できない私。某駅管轄の某駅助役に、経緯を説明すると助役から謝罪がありました。私はトラブルが発生した駅員からの謝罪を求めた。が、駅員からの謝罪はなかった。約2時間の闘いでした。

ちが ちが 違う某日。宝塚線の某駅。駅の窓口に駅員は不在。インターホン対応だった。いつものように『電動車いすです。某駅まで。早よ来てや！(笑)』と言うと、「すみません。約20分ぐらい、お待ち…優飢極道さんですか？すみません、すぐ、行きます！」と、対応が変わった。私は『対応した駅員は誰？』と思いつつホームで待っていると見覚えがある駅員。約10数年前に口喧嘩した駅員だった。お互いに『お久しぶりです』と挨拶をして、駅員：「優飢極道さん、相も変わらず元気ですね」と。

わたし なに 私：『何が？』

えきいん 駅員：「また駅員とバトルやったでしょ!？」

わたし ぼうえきいん あ まえ い 私：『某駅員に当たり前のこと言っただけですよ。』

えきいん たからづかせん えきいん はなし ひろ 駅員：「宝塚線で、駅員とバトルの話が広まっています。」

わたし ゆうめいじん わらい 私：『有名人は、つらいなあ(笑)』

えきいん わたし しんじん な わらい 私：「私も新人のとき、泣かされましたから(笑)これからも、お体を大切に頑張ってください。」と言われて、電車に乗り込んだ。こんな有名人、皆さん、どう思いますか？みんなで、気持ち良く移動できる公共交通機関にしていましょ！みなさんのご意見・ご感想を聞かせてください。

の とはんとうじしんひなんじょ たず 能登半島地震避難所を訪ねて

2024年2月15日～2月18日に、石川県

金沢市内のいしかわ総合スポーツセンターを
訪れました。そこは、旧大阪府立体育会館
(今はエディオンアリーナ大阪というらしい)

ぐらいの大きな体育館で、能登半島地震
被災者の方たちの1.5次避難所となっていま
す。1.5次避難所とは、特に被害の大きかった
珠州市、輪島市、七尾市、能登町、志賀町、
穴水町の1次避難所では過ぎにくい方たち



●体育館に並ぶテント

を、本人の了承のもと、一旦被災地外の施設で受け入れる避難所です。私は大阪DWATチーム員として、
避難された高齢者、障害者の方を中心に、お手伝いをさせていただきました。

大阪DWATとは、災害時における長期避難者の生活機能の低下や要介護度の重度化など二次被害防止のため、一般避難所で災害時要配慮者(高齢者や障害者、子ども等)に対する福祉支援を行う民間の福祉専門職で構成するチームです。被災市町村の災害対策本部から災害福祉支援ネットワーク中央センター(厚生労働省が全国社会福祉協議会に委託しています)へ派遣要請を行い、大阪府から大阪DWATへ調整が入ります。

この大阪DWATへの加入の動機は、東北大震災の際、岩手県大槌町へ被災地支援を行ったことがきっかけで、特にお役に立てることがあればという想いからです。私も阪神淡路大震災の際、たくさんの方々に助けられました。大阪北部地震の際は東北支援で出逢った方々から安否確認のメールがたくさん届き、頼もしく思いました。被災地支援にあたる研修などを受け、災害救助法などを知りました。



●テント内の段ボールベッド

避難所となっているスポーツセンターのメインアリーナは、バスケットコートが4面取れる広さで、お一人ごとに屋根のあるテントで過ごされていました。テント内には、褥瘡予防用マットが敷かれた段ボールベッドが設置され、あとは荷物を置くだけのスペースになっており、狭いスペースでもプライバシーが保たれる空間となっていました。どうしても家族で使用希望の方たちは、もう一つ段ボールベッドを置いているので、スペースがギリギリの状態です。

概ね200基のテントが並び、2階の観客席になっているところから見ると、凄い数に圧倒されます。

私が担当した『なんでも相談窓口』のブースでは、避難されてこられた方たちの困りごと、例えば「2次避難所への案内」「罹災証明書の申請手続き」「マイナンバーカードや健康保険証、銀行の通帳等が全壊したご自宅にある方の再発行手続き」などの相談を受けました。体調不良で、看護師や保健師の支援、トイレやシャワー一浴の介助が必要な方には、介護福祉士に繋げる役割も担っていました。

1月8日から開設されているこの避難所では、環境の変化にも対応しており、被災者が新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルスに感染した場合は、同じ館内の別のマルチパーパスで療養され、感染症対策への取り組みも徹底していました。重度の身体障害のある方たちや、高齢で特に介護を要する方たちは、看護師、介護福祉士でチーム編成された別のサブアリーナ(この場所はトイレ、シャワーが近いため)に集まってもらいました。

他の避難所等については、石川県のボランティア登録、もしくは厚生労働省に登録を済ませることが前提になっているため、3月に入っても支援が必要なところへの応援が整っていない状況と聞いています。地元の方たちが肩を寄せ合って助け合いをされていましたが、家族を失った方たちはさすがに気力を無くし、テントに引きこもっている方も多く、精神的なダメージを考えると声をかけるタイミングも難しく



●避難所生活の様子

かったです。被災されて亡くなられた方々のご冥福と1日も早い復興を祈っています。

(安東 由紀子)

【画像出典】

NHK NEWS WEB

- ・2024年1月13日 金沢「1.5次避難所」新たに開設 高齢者などの一時受け入れ先に
- ・2024年1月14日 石川県「1.5次避難所」ボランティア募集 金沢市内に住む人対象

<https://www3.nhk.or.jp/news/word/0002519.html>

ちょこっと

じぎょうほうこく 事業報告



● 居宅介護等事業 『スイミー』

「ために ではなく とともに」のスローガンのもと、利用者の身体や生活環境等のニーズに応じて移動支援・居宅介護計画書を作成し、ヘルパー派遣を行っています。少しずつではありますが、新規のヘルパーが増え、ニーズに答えられてきてはいますが、まだまだな所もあります。



スイミー

かいじょはけん

ヘルパー・利用者と「ともに」少しずつ介助に必要なスキルを身につけていけたらと思います。現在キャンペーンは行っていませんが、ヘルパーの募集をしておりますので、お知り合いの方で興味のある方がいらっしゃいましたら事業所までご連絡下さい。待ってま〜すい。

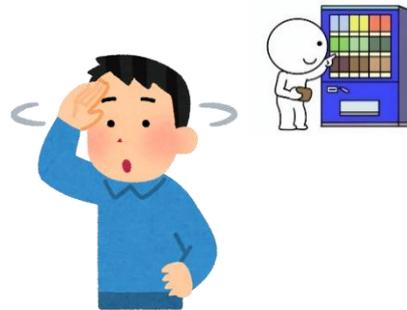
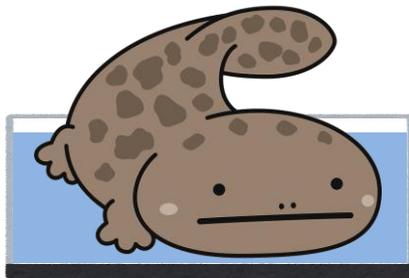
(枘井 裕紀)



● 共同生活援助事業 『グループホーム結』

結では、毎年秋に日帰り旅行を実施しています。コロナ禍で中止していましたが、4年ぶりに京都へ行ってきました。当日の朝、バスの中で「うれしい〜」と泣いて喜ぶ人、楽しみで寝られなかった人もちらほら。京都水族館に入ってすぐのオオサンショウウオが怖くて泣いてしまい、全部の水槽を素通りして出口まで行った人（お魚見てよ〜）、途中でいなくなった人（さっきまでいたのに〜?）、と色々ありましたが、久しぶりの楽しい旅行でした。来年度も行きますよ〜!

(大野 永美子)



こんなに可愛いのに...



● 相談支援事業 『ライフタイムミント』

相談支援専門員3名と非常勤職員1名の計4名体制で約90名のお方の相談支援業務を現在行っております。就学前児童から比較的高齢の障害当事者及びご家族まで年齢層が幅広く、また障害種別も多種多様。さらに、このところ新規の相談依頼ケースも増加傾向にあります。にもかかわらず、当事業所の職員体制や力量等の問題もあり、個々の依頼者に寄り添いきめ細かい相談支援がどこまでできているか不安が尽きません。さらに、問題や悩みを抱えながら「相談に来られないお方」への支援や掘り起こしも重要任務ですが、十分に行えていないのが現状と言わざるを得ません。

相談支援を必要とされているお方は増えているのに、肝心の相談支援体制はまだまだ不十分。というわけで、相談支援業務に従事する専門職としての力量向上とともに、相談支援体制の更なる整備充実の必要性を強く感じている今日この頃です。

(福永 英司)



かいいんぼしゅう 会員募集

推進協は、今後も障害のある方々にとって暮らしやすい社会づくりに向けた活動を続けていきます。

そんな法人の理念、活動方針にご賛同いただける方を引き続き募集いたします。

年会費

| | | |
|--------|------|----------|
| 団体会員 | : 1口 | 10,000 円 |
| 個人正会員 | : 1口 | 2,000 円 |
| 個人賛助会員 | : 1口 | 1,000 円 |

■お問い合わせは(072)723-3342 (担当: 岡部)

たんとう おかべ

わたし ちいき かつどう
★ 私たちは地域でこんな活動をしています★

きょたくかいごとうじぎょう
居宅介護等事業



ちいき ぐ
地域で暮らす
しょうがい かに
障害のある方に
ざいたくしえん
在宅支援や
ガイド支援を
おこな
行っています。

そうだんしえんじぎょう
相談支援事業



せいかつ なか
生活の中でのさまざま
まな困りごとについ
てお話を伺い、
必要な情報をお伝
えしていきます。

きょうどうせいかつえんじょじぎょう
共同生活援助事業



じしゅせい たいせつ
自主性を大切に、
さまざま てだす
様々な手助けを
おこな ちいき
行いながら地域
生活を支援してい
ます。

た じぎょう
その他の事業



ほか たいがいてきこうほうし
他、対外的広報誌の
かんこうじぎょう
刊行事業、ヘルパー
けんしゅうじぎょう
研修事業などを行
っています。
※休止中の事業も
あります。

■法人案内■ ご相談、ご依頼は下記事務所へお問い合わせください。

●法人本部

実施事業：居宅・重度訪問・移動支援・同行援護のヘルパー派遣事業・相談支援事業・共同生活援助事業

〒562-0001 大阪府箕面市箕面4丁目8番30号

【居宅・重度・同行・移動・G H】TEL: (072) 723-3342 FAX: (072) 723-6506 Email: JDW07270@nifty.com

【相談】TEL: (072) 720-6806 FAX: (072) 723-6506 Email: life-time-mint@mbr.nifty.com

公式 H P : <https://www.suisinkyō.com>

【編集後記】

今回も、表紙にそよかぜの家の利用者さんの作品を載せさせていただきましたが、春をイメージできそうな楽しく遊ぶ様子や表情がいいですね。作品を見ていると、春の陽気に誘われて遊びに行こう、との気持ちになりました。また、キャンプやツーリング(原付バイク)に行こうかな～♪
さて、前回の編集後記で「今年度中にNo.117を発行予定」と言いましたがギリギリ間に合わず…。年度を跨ぎましたが、23年度3月発行分とさせていただきます。m(__ ;)m
来年度(いや、今年度か?)も年2回の発行を予定していますので、よろしく願い致します。(太古)

編集人/特定非営利活動法人 箕面市障害者の生活と労働推進協議会

〒562-0001 大阪府箕面市箕面4丁目8番30号 電話072-723-3342 FAX072-723-6506(担当: 菊池・太古)

E-mail: JDW07270@nifty.com 郵便振替: 00990-4-116066 公式 H P : <https://www.suisinkyō.com>

発行人/関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル 4階

一九九一年九月三日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・5・6・8の日)発行 定価百円